



「現場の声」を反映 ポリシーブック 完成

全国のJA青年組織で取り組んでいるポリシーブック。
JA津軽みらい青年部は、全国農協青年組織協議会のモデル事業として、平成29年6月から作成に着手し、3月に完成。青年部の第9回通常総会で盟友に完成を報告した。

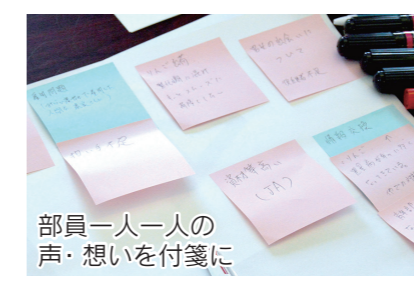
◎ポリシーブックとは

「JA青年組織の政策提言集」となりますが、青年部の盟友一人ひとりが営農や地域活動をしていく上での課題や問題点を整理のうえ盟友同士で解決策を検討し、とりまとめたものです。
ポリシーブックは、「自分たちの行動目標」と「積み上げによる政策要望」の両方を備えています。
とりまとめされたポリシーブックを用いて、必要に応じてJAや行政機関等に要請活動を行うとともに、浮き彫りになった課題は、解決に向け自分たちで努力することが求められます。

◎取り組みの流れ

平成29年6月 第1回研修会

STEP 1 課題の洗い出し
～課題の洗い出し～
盟友たちが普段感じていた疑問、不満、課題を事前に記入用紙に書き込み、各自がポストイットしていき、グループで共有。
STEP 2 課題の整理・分析
～課題の整理・分析～
疑問、不満、課題を整理し、テーマごとにグループ化。テーマごとの課題を深堀し、解決策のアイデア出しの素材へ。



部員一人一人の声・想いを付箋に

平成29年8月 第2回研修会

STEP 3 解決策のアイデア出し
～解決策のアイデア出し～
テーマごとにグループ化された課題に対し、その要因を考え、解決策のアイデアをポストイットしながら共有。
STEP 4 解決策の具体化
～解決策の具体化～
解決策のアイデアをグループ化し、議論を重ねながら具体化。5W1Hのプランシートに記入し、「誰が」という点で「個人・青年部でやること」、「JAへ要望・JAで行うこと」、「行政に要望すること」を明確化。
STEP 5 解決策の共有化
～解決策の共有化～
グループ内で議論した課題と解決策を参加者全員で共有。



真剣な話し合い

平成29年12月 第3回研修会

30年1月、青年部役員によるポリシーブック作成検討委員会で解決策をまとめ、ポリシーブック完成へ。



一丸となって取り組む盟友たち

◎ポリシーブックの内容

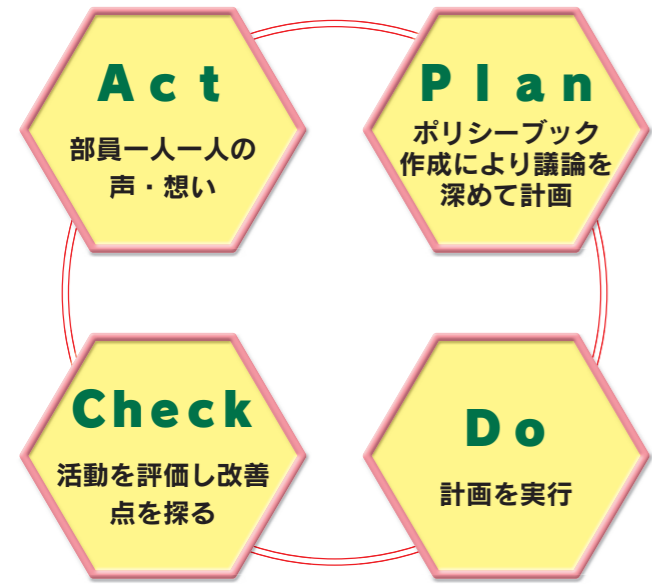
農業の省力化、労働力確保、生産技術向上、良品質生産のためにも農業担い手対策が必要。人員・作業員の確保として、個人・青年部では部員間で情報共有や省力化技術向上、作業員の雇用体制の整備などを行い、JAには省力化技術の指導・研修会、外国人技能実習生の利用者との研修会・セミナー開催などを要望している。また、後継者確保として、新規就農者の青年部への勧誘や事業承継ブックの活用などが盛り込まれた。
その他に、男女の出会いとして青年部として婚活事業へ参加・参画、農産物の販売・六次化産業への取り組み、食農教育活動による次世代へ農業の魅力PR、各地区が連携した青年部活動などの課題解決に向けた提言が書かれている。



完成を組合長に報告

◎ポリシーブックの活用へ

ポリシーブックは作成して完成ではない。製本後、青年部員に配布し、平成30年度の計画に組み込まれ、活動を展開する。
29年度部長の山内壮一郎さんは「部員一人一人がしっかりとした農業経営をできるようにポリシーブックを活用してほしい」と話し、30年度部長の工藤大輔さんは「ポリシーブックを活かし、盟友同士が協力して、地域が潤うような農業を目指したい。そして、われわれよりも若い世代が関心を持つような仲間づくりと活発な活動をしていきたい」と意気込む。



盟友 大募集!

青年部員を募集しております。お問合せは各基幹グリーンセンター青年部事務局まで。
※各基幹支店・各基幹グリーンセンターにポリシーブックを置く予定となっています。ぜひ、ご覧ください。

平成29年度青年部員数 JA津軽みらい青年部(401人)
黒石地区 (38人) 常盤地区 (11人) 板柳地区 (25人)
みなみ地区 (262人) 尾上地区 (26人) 石川地区 (39人)

